

Sx500シリーズスタックابلスイッチでのマルチスパンニングツリープロトコル(MSTP)インスタンス設定の設定

目的

Multiple Spanning Tree Protocol(MSTP)は、VLANをより有効に利用するための高速スパンニングツリープロトコル(RSTP)の拡張機能です。MSTPは、各VLANグループに対して個別のスパンニングツリーを設定し、スパンニングツリー内の実行可能な代替パスの1つを除くすべてのパスをブロックします。

Multiple Spanning Tree Instance(MSTI)設定を使用すると、MSTインスタンスごとにパラメータを設定および表示できます。Common Instance Spanning Tree(CIST)は、常にMSTI ID0です。各MSTインスタンスは番号で識別されます。MSTIの各インスタンスには1 ~ 64の番号を付けることができ、これらのIDは各領域に対してローカルです。

このドキュメントの目的は、Sx500シリーズスタックابلスイッチのMSTPインスタンス設定について説明することです。

このドキュメントの用語に慣れていない場合は、[Cisco Business:新用語一覧](#)。

該当するデバイス

- Sx500シリーズスタックابلスイッチ

[Software Version]

- 1.2.7.76

MSTPインスタンスの設定

注:MSTPのインスタンス設定を行う前に、[Multiple STP mode of operation]を選択する必要があります。詳細については、『[Sx500シリーズスタックابلスイッチでのスパンニングツリープロトコル\(STP\)の設定](#)』を参照してください。

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインし、[スパンニングツリー]>[MSTPインスタンス設定]を選択します。[MSTPインスタンスの設定]ページが開きます。

ステップ2:[Instance ID]ドロップダウンリストから、表示および定義するMSTPインスタンスを選択します。

注：選択したインスタンスに含まれるVLANが[含まれるVLAN]フィールドに表示されます。VLANをMSTIにマッピングするには、『[Sx500シリーズスタックابلスイッチでのVLANからMSTP\(MSTP\)インスタンスの設定](#)』を参照してください

ステップ3：ブリッジのプライオリティをBridge Priorityフィールドに入力します。ルートブリッジはネットワークのアクティブになるブリッジで、ブロックするポートや転送モードにするポートなど、他のすべての決定を担当します。プライオリティの低いブリッジがルートブリッジとして選択されます。同じプライオリティのブリッジがある場合、MACアドレスが比較され、MACア

ドレスが最も小さいブリッジがルートブリッジになります。ブリッジプライオリティ値は4096ずつ増分する必要があります。

次の情報が表示されます。

- 指定ルートブリッジ：MSTIのルートブリッジのプライオリティとMACアドレス。
- [ルートポート(Root Port)]：選択したインスタンスのルートポート。
- ルートパスコスト：選択したインスタンスのルートパスコスト。
- ブリッジID:MSTIのスイッチのプライオリティとMACアドレス。
- Remaining Hops：次の宛先までのホップ数。

ステップ4:[Apply]をクリックします。